

# あくね

A black and white photograph showing a man in a cap and work clothes operating a mechanical device, possibly a pump or sprayer, in a field. He is surrounded by several women and children, some of whom are looking at him. The background shows a large tree and a field.

2月

No. 264

# 念願かなった夢のかけ橋

## 阿久根市と長島と地続きに



黒之瀬戸架橋は写真のようになる

# 着工決まる

## では完成

阿久根市と長島町、東町を結ぶ黒之瀬戸架橋が、昭和四十四年度予算政策で認められ、いよいよ着工

橋が実現しました。市、長島町、東町、からなる黒之瀬戸架折衝してきたものです。と東町日浦を結ぶ、約 480メートル、2 昭和47年度までには完成し、観光・産業

阿久根市は、鹿児島県北西部に位置し、東支那海に面する南北五十キロにおよび、変化に富んだ海岸線と無数の島影をようし、この風光明媚な景観はすばらしいものがあります。とくに、阿久根大島は野生の一しかが生息し、美しい古い松におおわれ、夏期における観光客は七、八万を数え、遠く北九州、熊本方面からの利用者も増えています。

阿久根市は、鹿児島県北西部に位置し、東支那海に面する南北五十キロにおよび、変化に富んだ海岸線と無数の島影をようし、この風光明媚な景観はすばらしいものがあります。とくに、阿久根大島は野生の一しかが生息し、美しい古い松におおわれ、夏期における観光客は七、八万を数え、遠く北九州、熊本方面からの利用者も増えています。

### 観光資源の開発

#### 望まれる道路の整備

よされることになりました。この架橋は阿久根市黒之上の視折衝から東町日浦を結ぶ長さ四十八メートル、二車線の橋で工事費は約十三億五千万円、日本道路公団の手で、昭和

七年前の昭和三十八年で、熊本県牛深市と、長島をフエリーボート阿久根市と長島を橋で結び天草まで来た観光客の足を県内の観光地まで伸ばさせ合わせて、阿久根市や長島周辺の観光、産業振興に役だてようというのがねらいで進められてきたものです。

成し、計画の早期実現をめざして、県および建設省、道路公団、地元関係者が一体となって折衝した結果実現したものです。この長い間の悲願であった黒之瀬戸架橋の実現により、阿久根四万市民と長島二万町民としっかり手を結び、産業文化の交流にも重要な役割を果たすことになり観光開発にも大きく躍進することが期待され、阿久根市と長島を結ぶ夢のかけ橋も夢でなくなりまし

す。全国的には余り知られていないのが現状です。阿久根市の観光資源は、変化に富んだ海岸、温泉、これらの自然の条件を生かし、観光資源として最大限に活用されることが今後大いに期待されます。現在鹿児島県下における阿久根市の観光の位置は、西部ペルトラインと呼ばれる薩摩半島を南北に連ねる観光ライン上にある一つの孤立した観光地(とくに夏期だけ)にすぎず、将来の観光を展望するとき、多くを望めないのが現状にあります。

そのほか、九州観光八字ルートの一環として、天草パールラインを訪れる観光客を牛深市から長島をえて阿久根市へ導き、近く完成する高松川ダムと同時に、このほど完成した、田代一宇都川路線の奥地産業道路



このモノレールは、四十五度の傾斜地でも三五〇キロの運搬ができ、いままで一日かかっていた仕事が、一時間半でできるようになりましたと施設者の一人永井野さんは話してくださいました。また、山頂の畑も道路端の畑と仕事の面において、その差がなくなると、便利がらなっています。(尾崎地区永井野さんの園で)

### 表紙

#### モノレール

阿久根市尾崎地区に鹿児島県下ではじめて農業用モノレール五基が建設されました。ここ尾崎地区は有名なボンタンの産地、農業構造改善事業の基幹作物にも指定され、規模拡大が続き、そのためボンタン出荷、肥料運搬にも血のじむ重労働に苦しめられていました。



# 黒之瀬戸架橋

## 昭和47年度ま

開発と併行して、紫尾スカイラインの構想、鹿兒島県観光のベルトライン(桜島・霧島)あるいは種子屋久、奄美の離島観光地へとつなぐ地点として、きわめて重要な地位に立つことも夢でなくなりました。

このような時期に、黒之瀬戸架橋の実現は、阿久根市観光産業のありかたを大きく転換させ、大きく躍進するものとして期待されています。

### 観光ルートの整備

天草五橋を訪れる観光客の動きは、九州観光の拠点となつていきます。

したがって、天草本土を貫く国道の改良舗装をはじめ、天草西海岸、長島を結ぶ観光ルートの整備を急ぐ必要があります。

同時に、阿久根、出水、川内流域を含む北薩観光地域の観光開発に関して、関

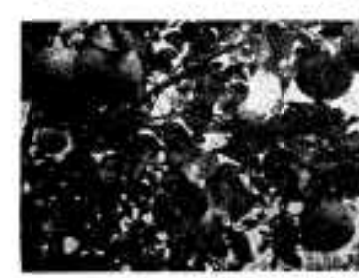
阿久根と長島を結ぶ夢かかけこれは、7年前の昭和38年に阿久根橋建設期成同盟会を結成関係当局にこの橋は阿久根市黒之上の橋折鼻車線で、工事費は約13億5千万円で経済などの振興に役だつことにりな

係市町村の協議体制を整えなければならぬ。

### 期待される施設の整備

#### 将来一大観地に

国鉄鹿兒島本線の電化復線化の促進と併行して、北九州と鹿児島を結ぶ長距離バス路線の実現化を図り、阿久根新港の早期完成を目指すし、阿久根、帆島などへのヘリポートの就航などを図り、観光開発に力を入れる時期となりました。



阿久根名産の文旦



阿久根大鳥のしか

この黒之瀬戸架橋の実現により、更に観光都市として躍進することが期待され、文旦、ウニ、イセエビ、その他の数多い特産物を有効に観光と結び、おみやげ品の開発、民芸品の開発と史蹟、文化財の保存など観光宣伝にも力を入れ積極的に進めて行かなければならぬ



日本三急潮流の一つ黒之瀬戸ツリの名所としても広く知られ、黒ダイウニ、イセエビなど海の幸はすべて満喫でき、ツリ天狗に親しまれています。またここからの眺めはすばらしく、東シナ海を一望のもとに見渡せる景観は目をみはるものがあります。

### 「ねずみ退治」の好期

#### 越冬昆虫駆除も

黒之瀬戸架橋の実現により、このような、夢と期待とをいっばい含んでいるの

「ねずみ退治」のコツ

は、と聞いたら、「食べ物を与えないことだ。」

食べ物がなければ四日間で全滅するよ。」と答えた人がいます。

ところが、「食べ物を与えないこと」は、なかなか至難なことで、不可能に近いことです。

さて二月という月は、比較的食べ物の少ない月です。

わたたくしたち家庭の台所から出る食べ残しの野菜なども比較的少ないし退治しやすい時期なので

また、ねずみは、三月ごろから繁殖し始め、五月ごろが最も多くなります。そしてこの一、二月がいちばん少ない時期に当たります。

ねずみ退治は、一軒だけでやっても効果がありません。必ず近所と共同戦線を築いてやることです。部落全体一挙にやる

そして、一日も早くこれらを実現し、観光、産業、文化の大阿久根市となるよう今後おし進めて行かなければなりません。



# 民生委員さまる

## 児童委員も兼務

十二月一日付けで新しい民生委員および児童委員五十六名が、厚生大臣、県知事から委嘱されました。

民生委員は、民間篤志者仕者として、社会奉仕の精神により、明るく、住みよい社会をつくり、地域住民の福祉を増進させるための推進者です。

どんな小さな問題でも、困ったことがありましたら近くの民生委員に気がるにご相談ください。

委員名をご紹介します。

カッコ内は担当地区

### ●阿久根地区

宮田 嘉次(波留)、池上 博義(大丸)、田之中 金樹(高松)、丹宗 フジノ(木町)、浜崎 栄(浜)、大尾 秀雄(上野)、山下 五郎(新町)、倉津 重則(倉津)、大橋 一雄(志)、海平 雪男(段)、大尾、新坂上利助(中村)、白木尾・浦・東牧内・牧内

### ●西目地区

浜崎伊太郎(佐崎・遠見ヶ岡)、飛松 勇誠(高之口)、尾上 十蔵(飛松)、花田 新太(田)、牛浜 貞美(落)、馬見新 昇(馬見場・大川島)

### ●山下地区

川路 嘉市(遠矢)、富永 次太郎(馬場)、中村 種雄(尾崎)、花木 東一(弓木野)

### ●折口・多田地区

吉田 仲藏(大林・牟田折口)、松尾 直義(永田上・永田下)、大下本松夫(内田・大下)、宮前 金徳(丸内・陳之尾)

### ●鶴川内地区

兄五 利和(上桑・下桑)、木佐木野・長谷、中原 正一(梅・羽田)、平田 道則(宮原・横手・養野)

米次次郎(尾原・米次)、本 義則(田代中・田代下)

### ●大川地区

岩崎 知止(本之平札)、松永 与古(牛之形)、奥平 慶蔵(仲仁田)、神田 徳治(中屋敷)、奥平 要(の場)、川畑矢一郎(川畑)、寺地 貞志(尻無上)、大田 福蔵(尻無中)

### ●本郷地区

大田 新太(尻無下)、本郷 仙吉(福本馬場)、播磨 誠二(福本馬場)、畑添マツエ(下村)、松本 太市(上原)、野八重イヅエ(筒田)、河北次郎(堀之上・堀之下)、京田 利雄(堀之浦上・大川川)

### ●市内学校関係

尾上 三郎

上連尺野、小村友子(瀬之浦下・笠山)、南 武蔵(古里・松ヶ根)、長野 可苗(梅之浦東)、河野 政弘(梅之浦西・深田)、野村弥太郎(黒之形)、大田 徳江(黒之上・大谷)、永野 直之(大渡)、山平 光雄(小瀬・八幡)

### ●家庭相談室付

竹原 勇

### ●市内学校関係

以上五十六名のかたがたが新しく民生委員として委嘱されました。

民生委員の任期は三ヶ年で、これらのかたがたが、それぞれの担当者でご相談に応じます。

## 交通災害共済制度の状況は

### 加入率21.9パーセント

ことしも交通災害共済の切り換えの時期(四月一日)が近くなりま

した。交通事故は、いまや日常でござい、自分にかかってくるか、思っただけでも危険な時代になりました。

このようにふいにおそってくる災害から身を守り、

### ◎加入状況

	人口	加入者	率
42年度	37,291人	7,008人	18.7%
43年度	36,262	7,940	21.9

### ◎見舞金支給状況

等級	おおよその傷害程度	件数	金額	2年度	件数	金額
1	死亡	4	2,000	—	—	—
2	6ヶ月以上	3	300	5	470	—
3	3ヶ月以上	1	50	1	50	—
4	1ヶ月以上	2	80	—	—	—
5	3ヶ月以下	3	90	4	120	—
6	2ヶ月以下	6	120	7	140	—
7	1ヶ月以下	10	100	4	40	—
8	20日~1ヶ月	4	20	2	10	—
9	10日~20日	9	24	2	8	—
10	7日~10日	2	6	1	3	—
計		41	2,790	26	841	—

いつおそいかかってくるかわからない交通事故にそなえるため、交通災害共済に一日も早く加入しましょう。そこで、現在(二月末日)までの加入状況および、見舞金支給状況をお知らせします。

加入金は一人一日一円で年間三六五円です。共済制度関係は、市役所市民相談室で取り扱っています。

# 胃腸薬

二月の和名「如月」(まさらぎ)といいますが、このことばの由来についてはいろいろの説があるようです。

まず、二月はまだ寒いので、さらに着物を着る一着更着のことから、そのままの月名となったとする説です。

あるいは、春二月(うば)は陽氣を更に迎えることからという説など、しかし、だいたいは、第一説が通用しているようです。

そのほか、仲春、春分、陽中、今月、梅見月など、いくつもの呼び名があります。

このように、立春を過ぎると、そろそろ梅、桜と花見シーズンになり、お酒が付きものです。

陽気にうかれて、つい飲み過ぎ、胃腸の調子が悪くなり、仕事も手につかぬものです。

万一、飲み過ぎ、食べ過ぎで胃腸を悪くしても、むやみに薬は飲まないほうがよいです。

ひと口に胃腸薬といっ

ても、その種類は多く、ただ胃腸がおかしいからといって飲むと、かえって悪くすることもあります。

やはり、症状にあった薬品を用い、お医者さんの適切な指導を受けるのが賢明です。

つまり、胃酸の分泌を抑えすぎず、胃腸の働きを整え、下痢止め、緩下剤など多種多様です。

薬を飲むときは、信用のおける優良薬局、薬店に行き、よく症状を説明して求めることです。

に、アレルギー体質のかたは注意することです。

胃腸の丈夫な人に病人なしといわれるが、花見シーズンなどは、食べ物食中毒に気をつけ、丈夫な胃をこわさないようにしたいものです。

また、月末から、春の火災予防運動が始まります。まず、タバコの投げ捨てなどに注意し、火災から身を守りましょう。

## 季節の話題



二月は過ぎる月といわれ、早く日があちますことに進学、卒業、就職をひかえた、子どもをおもちの家庭では、早め早めと、準備をしておくとす。

二月という月は、衣類が比較的安く手にはいります。育ちざかりの小さいお子さんの衣類は、どちらかといえ、安い生地で、いたんだら順次新しいものを買っていく方がお得のようです。



おとなの冬物も、二月はあちこの商店などで大売出しをやっている、案内を安価です。予算にのみあわせて、買っておくのもよいでしょう。中甸を過ぎたら、はつぱつ、春着の準備も始めましょう。

二月は、一年中でいちばん青野菜の不足する月といわれます。もつとも、最近では温室野菜が豊富に出回っているのでも、お金さえ出せば、いくらでも手にいれますが、切干し大根がおいしい季節です。切干大根はなるべく新しいものを選び、ぬるま湯に少しつけておき、油

あげなどといっしょに煮つけたり、ベーコンや豚肉のこま切れなどといっしょに食べるとういしいものです。ハウレン草、サヤエンドウなども、バターいためたけでおいしいものです。立春を迎えたとはいえ、上旬の寒さはまだまださびしいものがあります。家の前の道路などに水を

まいているのを見かけますが、不必要な水まきはやめましょう。二月も中旬を過ぎるころは、各地で梅花まつりなどがあります。梅見物もけっこうですが、車で出かけて事故にあつた例がたくさんあります。運転する人は絶対にさかずに手を出さないように守りたいものです。

### 現場協力者など表彰

#### 四十四年度消防出初式



表彰を受ける団員

恒例の昭和四十四年度消防出初式は、一月十六日行なわれました。

当日は、好天に恵まれ、阿久根中学校グラウンドで、

表彰式が行なわれました。

(優良分団) 三笠、牛之浜 (優良分団)

- 観開、機械器具服装点検、ポンプ操法、救急車救護訓練などをすま
- 廿阿久根中学校、校バスバンDを先頭に、市内目抜き通りをパレードのあと、高松川河畔で三〇台のポンプ車が放水しました
- そのあと、永年勤続者一級協力者など

多田・桐野・山下・桑原 城・佐高 (特別分団) 古里・折口 (努力分団) 大川・尾崎・赤瀬川

黒崎定男 市町村消防後援会長功績 田野正治 県消防協会出水支部長 川原実・春田勇義・川畑 榮政・新留親治・谷口住男 宇都清任

永年勤続者 至 寿・波留学・柳 沙 中島貞義・徳田鉄美・半田 義武・吉田淳義・坂口純雄 伊光雄・松永親造・松水伝 介・松水俊・永井野浩・新 坂盛雄・中津浜通・米次忠 雄・伊瀬秋義・陣尾次男、 落合智・大産雄

運送する人は絶対にさかずに手を出さないように守りたいものです。

- 自治体消防発足二〇年表彰 神田徳治・川原忠・中原 実雄・望岡実雄・波留雄雄 栗林方吉・神の田栄治・石 沢昭二・熊野崎達雄・熊野 崎良範・田上実・富浜勝
- 二〇年永年勤続 米次清遠・昭岡実雄・田 上実・熊野崎達雄・石沢昭 二・中原実雄
- 県消防協会役員功績 花田喜助

- 現場協力者 田之上ツル・大石哲郎・ 田中商
- 一〇年勤続者(團長) 宮田寛治・河南次男・田 畑貞雄・川井学一・永池秀 男・西田勝・松木千春・山 口幸泰・弓木野徳栄・若松 正志・寺岡五雄・網代良一 浜之上重美
- 一〇年勤続者(消防長) 丸尾敏
- 海難救助活動協力出勤 八幡分団

- 歳末助け合い 歳末助け合いにご協力く ださいましてありがとうございます。ここにその収支報告申し あげます。
- (収入) 一般寄付金(区長扱い) 一五六、二一八円 特志寄付金(民生委員扱い) 以上のとおりでした。
- (支出) 解代 二七二、〇〇〇円 児童助け合い四〇〇〇〇円 新聞少年助け合い 三〇、〇〇〇円 阿久根・指宿・加治木・彌 山の各慶養所二七五〇〇円 その他 一一八、六五二円 以上のとおりでした。



読書感想文の表彰式

市長賞 牛之浜聖子 (大川小五年)



(表彰を受ける小中児童生徒)

市内小・中学校読書感想文コンクールの入賞者がつぎのとおり決まり、このほど表彰式が行なわれつぎの如きが表彰されました

- (特選)
- まつぎさそういちろう (協小一年) ・ 橋尾たきよ (協小四年) ・ 川口博志 (西目小六年) ・ 寺地律英 (大)
- (入選)
- 一年: 比のみややすし (阿小) ・ まつぎさとみ (阿小) ・ つるそのあやこ (大川小) ・ ながおさいつべい (鶴小) ・ なかはらかずき (折小)
  - 二年: まとびみゆき (大川小) ・ おはるかすよ (田代小) ・ みぞ上ひであき (鶴小) ・ 小むらひろゆき (阿小) ・ おばらゆき子 (阿小)
  - 三年: 富吉ひで子 (西目小) ・ くきたたまきたか (阿小) ・ 松永さゆり (大川小) ・ 石沢けい子 (協小) ・ 早水理恵 (折小)
  - 四年: 寺地光博 (大川小) ・ 寺地美奈子 (大川小) ・ 浜元
  - 五年: 盛水房子 (山下小) ・ 藤岡いつよ (西目小) ・ 本脇壽博 (協小) ・ 松山和広 (大川小) ・ 中野まみ (協小)
  - 六年: 牛之浜ツキエ (大川小) ・ 日当源幸子 (田代小) ・ 海江田清 (阿小) ・ 岩崎可奈子 (大川小) ・ 盛水良二 (尾崎小)
  - 中学一年: 來崎久美子 (鶴中) ・ 二宮京子 (阿中)
  - 中学二年: 櫻田ひとみ (阿中) ・ 上野みえ子 (鶴中)
  - 中学三年: 中野芳里 (大川中) ・ 中野智子 (大川中)
- おおくやみ (十一月分)
- 新町 菅野 (タス子)
  - 東園 ヤネ76 大川鶴 (西目)
  - 房村 邦一 上野 (部)
  - 鶴岡 ミカ74 新町 (タス子)
  - 水口 ノブ42 鶴岡 (鶴小)
  - 折橋ヤシカメ81 三木野 (文雄)
  - 中原 麻美0 鶴岡内 (鶴小)
  - 中原 登子0 鶴岡内 (鶴小)
  - 寺地 与八70 尻下 (ツクイ)
  - 瀬水 休助89 加 (ヨシ)
  - 地之田チタイ52 仲田 (寛己)
  - 野中 ハル84 阿木野 (部)
  - 切通 智吉62 町 (シツ)
  - 馬越 庄吾58 岡 (ツミ)
  - 平床ヨシマツ71 長野 (武徳)
  - 尻橋源七太郎64 尻下 (ナミ)
  - 田中キノ79 坊 (政徳)
  - 坂元 英雄73 新町 (ツカ)
  - 川畑 要47 西之白 (スズ)
  - 松元ハルズ55 赤川 (美子)
  - 山口 操57 折口東 (キコ子)
  - 山根 サエ60 赤川 (重信)
  - 武内 友喜67 坂留 (ニツ)
  - 豊島 スヤ80 鶴岡内 (トミ)
  - 川上直樹 新町 (部)
  - 下野イブノ68 大川 (西目)
  - 松崎 利雄61 下村 (右喜)
  - 石澤 圭一74 大瀬 (ミモ)
  - 小瀬フサキク60 小瀬 (重山)
  - 平 トシ74 古里 (清八)
  - 松本 武次77 豊原 (重樹)
  - (十二月分)
  - 坂元ツヨノ83 浜 (貞徳)
  - 中野あゆみ2 鶴岡内 (進)
  - 寺地七左衛門79 尻下 (重彦)
  - 岩元 清造29 渡見 (カノ)
  - 三宅 正70 上野 (部)
  - 笠地 頼助86 段 (ツルマツ)
  - 村山 英八82 山下 (ケミ)
  - 村山 典52 山下 (チミ)
  - 地蔵堂三五兵衛83 野 (部)
  - 法福 洋子0 栄町 (修徳)
  - 上野 キミ73 上野 (母助)
  - 平野 力子64 佐鶴 (大喜)
  - 下野仁彦70 尻上 (ヨサ)
  - 寺地ハツキク75 尻中 (九右衛門)
  - 瀧崎フサノ75 大丸 (ハギ)
  - 落ツルマツ89 落 (次郎助)
  - 若松 直子0 尻中 (寛徳)
  - 伊藤 新七5 赤川 (岩光)
  - 野中 良美36 岡 (エズ子)
  - 野中 勝七79 山下 (ハツ)
  - 牛之濱英次58 大川 (チエミ)
  - 山口 ヒメ81 上野 (孝志)
  - 白風ハツキク83 阿木野 (理恵)
  - 盛水 勝美56 津 矢 (ツツミ)
  - 新町チヨマツ87 飛松 (守)
  - 東 良二86 波留 (武夫)
  - 新町宗太郎79 飛松 (一)
  - 新町 与吉71 新町 (ツルマツ)
  - 堂後小右衛門55 下 (スマエ)
  - 外間 サラ75 下村 (フチ)
  - 西野フチエ64 梅之東 (重之助)
  - 濱崎ミエエ65 豊原 (三郎)



(今も残る古地、建て物は、市体育館)

郷土の地名 (その1) 大丸

阿久根市役所がある大丸地区は、昔から「うまる」または「うまっ田」などと呼ばれてきました。この「うまる」は「埋まる」の意味で、埋め立てられてきた土地のことです。

今から1,000年ほど前は、この大丸地区一帯は、深い入り江でありました。それが、長い年月にわたって運ばれた高松川の土砂で、この深い入り江も毎年毎年埋め立てられ、今から150年前の文化の末期には、いくつもの小川を流す陸地となり溜留工事を施すと容易に農作物ができる土地になっていました。

そこで藩では、文政の初年にかけて、現在の市民会館東西の線に、長さ218メートル(120間)幅14.5メートル、高さ2.7メートルの溜留土堤を築かせ、28ヘクタール(28町歩)の農地をつくったのです。この土堤が今も残る「古堤」であります。

次いで、その100年後の明治の末期から大正の初年にかけて、鶴の湯温泉の西側から四柱の入り口までの倉津道の線に、第2期の溜留土堤が築かれ、古堤の北地区の干拓を行ないこの土堤を「新堤」と呼ぶのであります。

このように「うまる」は、高松川の埋め立て作用をとって地名としたものでありますが、なぜ、この「うまる」を「大丸」と書くようになったか、それは、昔から郷土では「大」を「う」ともいい、「大川」を「うこ」、「大田」を「うた」、「大尾」を「うお」などというように、この「うまる」もときの知識人が「大丸」と漢字にしたものでそれも明治初年の地名登記からであろうとされています。

(市立図書館長)

- 川上直樹 新町 (部)
- 下野イブノ68 大川 (西目)
- 松崎 利雄61 下村 (右喜)
- 石澤 圭一74 大瀬 (ミモ)
- 小瀬フサキク60 小瀬 (重山)
- 平 トシ74 古里 (清八)
- 松本 武次77 豊原 (重樹)
- (十二月分)
- 坂元ツヨノ83 浜 (貞徳)
- 中野あゆみ2 鶴岡内 (進)
- 寺地七左衛門79 尻下 (重彦)
- 岩元 清造29 渡見 (カノ)
- 三宅 正70 上野 (部)
- 笠地 頼助86 段 (ツルマツ)
- 村山 英八82 山下 (ケミ)
- 村山 典52 山下 (チミ)
- 地蔵堂三五兵衛83 野 (部)
- 法福 洋子0 栄町 (修徳)
- 上野 キミ73 上野 (母助)
- 平野 力子64 佐鶴 (大喜)
- 下野仁彦70 尻上 (ヨサ)
- 寺地ハツキク75 尻中 (九右衛門)
- 瀧崎フサノ75 大丸 (ハギ)
- 落ツルマツ89 落 (次郎助)
- 若松 直子0 尻中 (寛徳)
- 伊藤 新七5 赤川 (岩光)
- 野中 良美36 岡 (エズ子)
- 野中 勝七79 山下 (ハツ)
- 牛之濱英次58 大川 (チエミ)
- 山口 ヒメ81 上野 (孝志)
- 白風ハツキク83 阿木野 (理恵)
- 盛水 勝美56 津 矢 (ツツミ)
- 新町チヨマツ87 飛松 (守)
- 東 良二86 波留 (武夫)
- 新町宗太郎79 飛松 (一)
- 新町 与吉71 新町 (ツルマツ)
- 堂後小右衛門55 下 (スマエ)
- 外間 サラ75 下村 (フチ)
- 西野フチエ64 梅之東 (重之助)
- 濱崎ミエエ65 豊原 (三郎)